

これからの情報の技術について考えよう

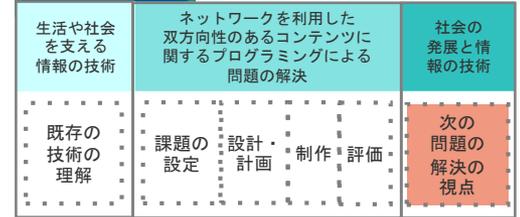
目標

- ・情報の技術の光と影について考えることができる。
- ・持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考える。
- ・持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとする。

評価規準

- 思：情報の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を設定できている。【レポート】
- 態：自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想している。【振り返りシート】

学習過程



準備

- レポート「これからの情報の技術」
- タブレット等のネットワークに接続できる端末

展開

学習活動

- ・生徒の活動 ◇教師の働きかけ ■評価方法

1 これまでの学習を振り返る。

◇これまで学習した情報の技術について想起させる。

2 課題を把握する。

持続可能な社会のために、情報の技術でどのようなことができるだろうか。

- ・情報の**技術の最適化**や情報の技術のプラス面とマイナス面について考える。
- ・適切な選択と管理・運用の在り方について考える。

◇情報の技術のこれからについて考え、情報の技術を評価した上で考えさせる。

3 情報の技術のプラス面とマイナス面を考える。

- ・情報の技術を1つ選び、技術の見方・考え方を働かせてプラス面とマイナス面を考える。 **ポイント①**
- ・技術のマイナス面の克服に向けた、新たな技術の開発について考える。 **ポイント②**

4 これからの情報の技術について考える。

- ・新しい情報の技術について調べる。 **ポイント③**
- ・調べたことを交流する。



5 振り返り

- ◇新たな情報の技術のよい点と課題について評価していることを価値付ける。
- 振り返り（態）

ポイント①

この時間では、これまで学習した問題の解決については、私たちの生活や社会にある様々な製品やシステムの開発にも生かされ、**技術の最適化**が図られていることを様々な視点から考えさせるようにしましょう。利用者と開発者の両方の視点から考えることが大切です。

ポイント②

「これからの情報の技術」を考える際には、情報の技術によって、私たちの生活が便利になっていることに気付かせるとともに、技術の開発にはマイナス面も存在することを取り上げます。そして、生徒なりの視点から、正しく技術を評価できるようにすることが大切です。

ポイント③

新しい技術の開発については、動画を視聴してイメージを膨らませるようにする活動も考えられます。授業動画では、いくつかの参考動画を紹介しています。（〇〇上記参考動画）これらの動画を視聴後、持続可能な社会を創るために、どのような技術を開発したいか、技術者の視点から考えさせてみましょう。